

新宿区第二次男女共同参画推進計画(素案)

へのパブリック・コメント制度等による

意見及び区の考え方

パブリック・コメント等の実施結果

- 1 パブリック・コメントの実施期間
平成23年 11月5日(土)～12月3日(土)

- 2 意見の受付件数等

提出意見数	14件
提出者数	6人
提出方法	
ファックス	1人
郵送	1人
地域説明会	4人

- 3 意見の計画への反映等

意見を計画の反映	2件
意見の趣旨は計画に取り込み済み	7件
意見の趣旨に沿って取り組む	1件
今後の取組みの参考とする	0件
意見として伺う	4件

平成 24 年 1 月

新 宿 区

パブリック・コメント及び地域説明会意見一覧及び区の考え方

番号	区分	意見等の趣旨	区の考え方	計画への反映等
1	全般	5つのビジョン・5つの目標は、新宿区民憲章の考えを基に作られていると思った。このビジョン・目標に向けて、区はどのように具体的に活動するのか知りたいと思った。	5つのビジョン・5つの目標は、「新宿区基本構想」や「新宿区男女共同参画推進条例」などと整合を図りながら、「新宿区男女共同参画推進計画」(平成20年度～23年度)の進捗状況及び各種調査結果や現状分析により、男女共同参画の主な課題と方向性をわかりやすく示したものです。 「新宿区第二次男女共同参画推進計画」では、計画の体系の中に82事業を位置付け、区民参加や事業者、NPO等との協働や、庁内各課との連携により計画の着実な推進を図っていきます。	意見の趣旨は計画に取り込み済み
2	全般	説明なしにDVという言葉が使われている(素案P18)ので、最初に出てくる場合は説明を入れたほうが良いと思う。	男女共同参画の分野に関する用語は、わかりにくい言葉が多いため、ご意見のとおり、可能な限り用語の説明を記載することで、わかりやすい計画になるよう努めていきます。	意見を計画に反映
3	全般	「新宿区男女共同参画推進計画」(平成20年度～23年度)の実績で使う用語は、同計画で使われた用語を用いたほうが良いと思う。	ご意見のとおり、「新宿区男女共同参画推進計画」(平成20年度～23年度)の内容と整合を図ります。	意見を計画に反映
4	全般	「推進計画素案」は、現在の日本の社会経済状況の分析が甘く、女性の置かれている状況が正しく反映されていないため、計画が現実味がなく感じられます。	「新宿区第二次男女共同参画推進計画」は、昨年度実施した「新宿区男女共同参画に関する区民の意識・実態調査」結果などから、新宿区における現状分析や課題の整理を行い、計画に反映したものとなっています。 また、個人の意識を変えていくことは、一朝一夕には実現できないものと考えています。「新宿区第二次男女共同参画推進計画」では、区民への意識啓発を地道に行うとともに、子育てや介護に対する支援や女性の活躍を支援するためのしくみづくりなど、具体的に取組んでいきます。	意見として伺う
5	全般	「推進計画」の基本は、固定化した性別役割分担意識のせいで、社会的に不利益を被り、様々な生活の困難を抱える女性への支援を計画の第一に据えるべきであると考えます。この基本が薄い計画では、区民に男女共同参画が自分の事として根づいて行かないと思います。	固定的な性別役割分担意識の解消は、重要な課題として認識しております。「新宿区第二次男女共同参画推進計画」では、「目標2 多様な生き方を認めあう社会づくり (1) 固定的な性別役割分担意識を解消します」において、女性の意識ばかりではなく、若い世代や男性の意識を変えることにも積極的に取組み、固定的性別役割分担意識の解消に向けた取組みを推進します。 また、様々な生活の困難を抱える女性への支援については、ひとり親家庭の自立支援など、具体的な支援を講じていきます。	意見として伺う
6	目標1	ワーク・ライフ・バランスは、本当はもっとやらなくてはならない。オランダのようになれば良いと思うが、日本政府や新宿区のワーク・ライフ・バランスはどこかずれていると思う。	区では、平成19年10月よりワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度を開始しており、事業所において働きやすい職場環境づくりに向けた支援など、事業者と従業員がともにワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、引き続き取り組んでいきます。	意見として伺う
7	目標1	中小企業が人を集めていくために、ワーク・ライフ・バランスを定着させていくことが大事だと思う。	中小企業においてもワーク・ライフ・バランスを推進することにより優秀な人材が集まるなど、経営戦略として効果があります。引き続きワーク・ライフ・バランスの普及啓発に取り組んでいきます。	意見の趣旨は計画に取り込み済み

パブリック・コメント及び地域説明会意見一覧及び区の考え方

番号	区分	意見等の趣旨	区の考え方	計画への反映等
8	目標1	「事業22 事業者に対する介護支援のための環境整備の促進」でも、ワーク・ライフ・バランスと同様に、事業者側の思惑と従業員の思惑がずれていると思うので、部署関係なく介護者に対する支援は必要だと思う。(事業22)	今後、ワーク・ライフ・バランスを推進する上で、仕事と介護の両立は大きな問題になると考えられています。ご意見のとおり、関係各課との連携による支援を行うよう、努力していきます。	ご意見の趣旨に沿って取り組む(事業22)
9	目標1	国が進めている幼保一元化については、現場は混乱している。そのまま進めていくことに疑問を持っている。	区が進めている保育園・幼稚園の子ども園への一元化は、国が検討中の子ども子育て新システムをそのまま導入するものではありません。平成17年の愛日幼稚園と中町保育園の連携や19年開園の四谷子ども園と新宿区は経験と実績を積み上げて進めています。 今後も、新宿区が進める幼保一元化については、対象園ごとに十分説明し、円滑に進めていきます。	意見として伺う(事業11)
10	目標1	子どもの居場所づくりについて、保育園に預けている時期は安心だが、小学校1年生の壁、学童クラブに行けなくなる小学生4年生の壁があるので、中学生くらいまで、区のサポートがあるとよいと考える。	子どもの居場所としては、児童館、学童クラブ、放課後子どもひろばがあり、指導員が子ども達の活動の支援を行っています。また、子ども総合センターや子ども家庭支援センターには中高生活動室があり(中落合子ども家庭支援センターには平成25年度設置予定)、中高生の活動の支援も行っています。	意見の趣旨は計画に取り込み済み(事業12)
11	目標2	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの説明が、ここに入っているのはわかりやすい。(P53)	男女共同参画の分野に関する用語は、わかりにくい言葉が多いため、ご意見のとおり、可能な限り用語の説明を記載することで、わかりやすい計画になるよう努めていきます。	意見の趣旨は計画に取り込み済み
12	目標3	配偶者暴力相談支援センターは、ぜひ作っていただきたい。(事業54)	関係各課との調整や設置場所などの検討を行い、なるべく早い時期に設置できるよう進めていきます。	意見の趣旨は計画に取り込み済み(事業54)
13	目標4	男女共同参画の説明が、小学校5年生に対してなされているのはどうか。(事業60)	平成17年度までは中学生に対して男女共同参画の推進に向けた冊子を配布していましたが、マスメディアなどを通じて、小さい頃から男女の固定的な性別役割分担意識がすり込まれていくこともあり、もう少し若い世代から男女共同参画を理解して欲しいと考え、小学校5年生を対象にしています。	意見の趣旨は計画に取り込み済み(事業60)
14	目標4	「事業66 女性の視点を取り入れた避難所の整備」は、大変良いことだと思う。(事業66)	地域における男女共同参画の推進に向けて、災害時においても推進が図れるよう、庁内各課との連携により取り組んでいきます。	意見の趣旨は計画に取り込み済み(事業66)